



PLUS ULTRA

# はくおう



卒業式での学校長式辞



修学旅行で台湾の成功高級中學を訪問



全国選抜大会に出場した生徒たち

## 目次

○「贈る言葉」 学校長 平野英治 .....	P.2
○卒業生に贈る言葉 .....	P.3
○学窓の思い出 .....	P.4~5
○進学状況・就職状況 .....	P.6~7
○関東大会・国民体育大会・全国大会 .....	P.8~11
○白鷗大学だより .....	P.12
○本校舎トピックス .....	P.13
○富田キャンパストピックス .....	P.14
○SSHトピックス .....	P.15
○PTAだより・生徒会・予餞会・編集後記 .....	P.16

# 第47号

平成26年

# 3/31



# 贈る言葉

白鷗大学足利高等学校長 平野 英治

556名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。旅立ちにあたりお祝いの言葉を贈ります。

皆さんが本校で過ごした3年間は、自己を確立する上できわめて重要な期間でもありました。それは、人生を逞しく生き抜くために自分の歩むべき道を見つけ、新しい旅立ちをするための準備期間であり、自己確立の道程そのものでした。皆さんの在籍していた3年間にも世界はめまぐるしく変化していました。そのような状況下で、皆さんは本校の校訓である「PLUS ULTRA」の精神のもと人間力の向上を目指し、「文武両道」を合言葉に強く生きる力を身につけるべく、人間としての基礎基本を学びとりました。それらのことを力に、夢と希望と自信を持って社会に飛び立って欲しいと思います。

しかしながら、これから船出する皆さんの前途は、必ずしも平穏なものとは限りません。私たちが取り巻く世の中の情勢に目を向けてみると、長年続いていたアメリカを中心とした世界の神話は崩れ、多様な価値観が混在し、先行きが不透明で混迷の度合いが強まっています。このような現状を目の前にした時、皆さんが心に「勇気」を持てるか、それとも「活力をもてない思考」に陥って

しまいかによって、今後の人生は大きく左右されてしまいます。「人に何をしてもらうか」ではなく、「自分は今、何をすべきか」をしっかりと認識して、人生を歩んでください。難しいことのようにですが、この「何をすべきか」について考える素地は、本校在学中の3年間の部活動や勤労奉仕活動な



どのボランティア活動を通して身につけています。その一つが主体的な思考力、つまり現状を素早く把握し、「今、必要とされていることは何か」を考えて行動する力です。二つめは、謙虚な心です。謙虚な心で物事に取り組むことによつて様々な成果が期待できます。そのことは皆さんの部活動における華々しい活躍や進学実績等が裏付けています。

卒業生の皆さん、この主体的な思考力と謙虚さをもって、日々変化する世界情勢や社会的変化に関心を持ち、見識を深め、いざという時には社会に役立つ人間になるのだと自分自身を鼓舞し、人間性を高める努力を継続していきましょう。不透明な時代だからこそ、将来を展望しつつ、激動する社会情勢にも弾力的に対応できる豊かな心をもって、主体的に生きていって欲しいと願います。

最後になりましたが、皆さんの今日までの健やかな成長は、ご両

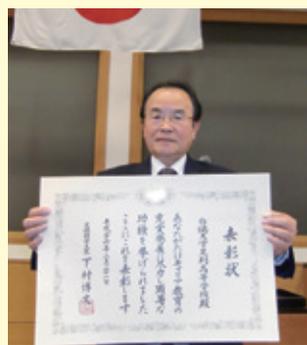
## キャリア教育優良高等学校として 文部科学大臣表彰を受ける

2月21日、国立オリンピック記念青少年総合センターの国際会議室において、本校がキャリア教育優良高等学校として文部科学大臣から表彰を受けました。

この表彰は、各都道府県から推薦を受けた、キャリア教育の充実・発展に尽力し顕著な功績のあった教育委員会、学校およびPTA団体等に対して贈られるものです。全国の高等学校から選ばれた34校のうち私学は3校でした。本校では、生徒たちの主体的な職業選択と社会的な自立を意図したカリキュラムを構成し、キャリア支援プランやコースイベントなどを積極的に実施していることが、この名誉ある受賞につながりま

親やご家族の方々や小・中学校の先生方、そして地域の方々等、多くの人たちのご支援とご指導の賜物です。感謝の気持ちを持ち続けてください。そして、皆さんの充実した高校生活を示す様々な実績が、後輩たちに強烈な印象を残し、次の目標を与えてくれたことや、本校の歴史と伝統を、更に発展させ後輩たちに引き継いでくれたことにも想いを巡らせ、改めて「ありがとう」の感謝の言葉を述べ、皆さんの更なる活躍を祈念して贈る言葉といたします。

した。  
この受賞を糧として本校はこれからも教育関係諸機関や地域社会、産業界との連携を図り、より一層キャリア教育の充実、促進を目指します。  
なお、具体的な取り組みについては、本校ホームページをご覧ください。



# 卒業生に贈る言葉

## 感謝



教頭・普通部長 長谷川 嘉明

卒業おめでとうございます。3年間の課程を終え、学び舎から巣立とうとしている卒業生の皆さんには「感謝」の言葉を忘れないでほしいと思います。

ロンドンオリンピックやソチオリンピックに出場した選手や第86回選抜高等学校野球大会への出場が決定した本校野球部の生徒たちが、応援して下さった方々に「感謝」の気持ちを伝えていたことは、記憶に残っていると思います。目標を達成するには本人の努力が一番ですが、周囲の方々のご



# たった一度しかない人生

進学部長 佐藤 逸夫



最後にあたり、「たった一人しかない自分を、たった一度しかない人生をほんとうに生かさなかつたら、人間生まれてきたかいないじゃないか。」という、路傍の石の一節を贈ります。夢を持って大きく羽ばたいていってください。

ご卒業おめでとうございます。本校での3年間は、思い出の多い青春のページになったのではないかと思います。皆さんはこれから辛いこと、悲しいことに遭遇することもあるかもしれませんが、そのような時は、高校生活で培った不屈の精神で乗り切ってください。

# 深く考えるといふこと

教頭 奥澤 信行



ご卒業おめでとうございます。これから新しい環境に臨む皆さんに一言お願いがあります。

高校を卒業した大学生や社会人は、世の中では一応大人として認識されています。しかし、最近の若者を見ると、考え方や行動が稚拙で、とても大人とは思えない人が多いのではないのでしょうか。それは短絡的な思考による凶悪犯罪の多発にも関係しています。また

# 夢を持って

文理部長 須藤 敏哉



3年前、皆さんはそれぞれの夢を持ち、高校生活をスタートさせました。その夢は今どうなっていますか。ソチ五輪で活躍した葛西選手は、長野五輪後、金メダルを夢に19年努力し続けたそうです。このニュースを知ったとき、夢の実現のためには、高校での3年間など一ステップに過ぎない。そんな思いが胸をよぎりました。

皆さんは、この3年間、諸先生方の指導の下、クラスや部活動の仲間と切磋琢磨し、知恵と体力と根性を養ってきました。それは、夢の実現のためには欠くことので

きない、大きな力になると確信しています。まだ実現されぬ夢、新しく見つけた夢、皆さんには夢に向けて努力する時間も力も十分にあるのです。これからも、自分の本当にしたいこと「夢」に向かって努力してください。



2号館前の桜



本校舎正面玄関前の校歌碑



# 学窓の思い出



電気通信大学  
情報理工学部  
特進コース  
3年 1組  
宮澤 春名  
(足利一中)

本校での3年間は、とても充実した日々であり、私にとってかけがえのないものとなりました。3年間を通して、人数は少ないながらも個性豊かなクラスメイトと、ともに刺激を受け合いながら、学業と行事の双方に丸となって取り組み、良い結果を残すことができました。各行事に向けた練習の日々は、忘れられない思い出です。



東京農業大学  
応用生物科学部  
生物応用化学科  
SG進学コース  
3年 1組  
伊藤 未紗  
(白鷲足利中)

本校で過ごした3年間は本当に充実した日々でした。クラスメイトは個性豊かで毎日とても楽しく、合唱祭や文化祭といった学校行事には、一致団結し



茨城大学  
農学部 資源生物科学科  
進学コース  
3年 5組  
木村 優花  
(太田西中)

本校で過ごした3年間は勉強だけでなく何事にも全力で取り組みました。一つの目標に向かって皆で力を合わせたCan祭、体育

また、先生方には、日々の学習から入試への対策に至るまで、温かいご指導を頂き、学校生活の面でもさまざまなサポートをして頂きました。充実した日々を過ごすことができたのは、先生方が支えてくださったおかげであり、本当に感謝の気持ちで一杯です。



卒業証書 進学コース 総代  
進3年2組 家泉千理奈さん(太田東中)

て取り組みました。こういった思い出は、私にとってかけがえのない



卒業式全景

祭。そして友人たちと過ごした日々など、どれも最高の思い出です。遅くまで残れる自習室のような充実した施設や親身に指導してくださる先生方など、恵まれた環境の中で積極的に学ぶことができました。また、同じような夢や目標を持つ友人たちと競い合いながら

いものです。そして自分の進みたい道を決定してからは、そのために一生懸命勉強に励んできました。その中で戸惑ったり、悩んだりすることも多々ありましたが先生方の熱心なご指導のおかげで乗り越えることができました。心から感謝しています。本当にありがとうございます。

大学進学後も友人たちとの思い出や本校で学んだことを忘れずに自分の道を切り開いていきます。



獨協大学  
外国語学部 英語学科  
英語科  
3年 1組  
小宮山 怜美  
(生品中)

勉学に励むこともできました。これらの素晴らしい経験をする中で自分を高められ、また希望する大学に進むことができました。熱心に指導してくださった担任の先生、諸先生方にはとても感謝しています。本校で学び得たものを胸に、これからも頑張りたいと思います。ありがとうございます。

高校生活もあっという間に過ぎてしまいました。国際色豊かな少人数のクラスで担任の先生も3年間変わらなかったことは、私たちにとってとても居心地の良いものでした。また、所属していた茶道部では、ほかのクラスの友人もでき、楽しく作法や着付けを学ぶことができました。私が無事に大学に合格できたことは、とても親身にご指導してくださった先生方のおかげです。本当に感謝しています。これから、大学に入学し、新しい環境の中で生活することになりますが、本校で学んだことを生かし、努力していきたいと思えます。



文理進学コース  
3年 3組  
奥田 菜月  
(黒磯中)

文教大学

教育学部  
学校教育課程  
体育専修

私は、本校に入学して自分自身を大きく前進させる事ができました。充実した3年間を過ごす事ができたと心から思っています。

ソフトテニス部では、熱心に御指導をしてくださる顧問の先生方や競い合える仲間と出会い、技術やメンタルを鍛え、全国大会で活躍することができました。さらに、礼儀や気遣いなども身につきました。学業でも高めることができました。学業では、部活動との両立を計る為に、限られた時間の中で努力し、先生方や友達の支えによって頑張り続けることができました。



大学では、これらの経験を糧として、感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきたいと思っております。そして、憧れている顧問の先生のように立派な人間になりたいと思っております。



普通コース  
3年 1組  
吉田 香奈  
(浪江町立浪江中)

日本指圧専門学校 指圧学科

本校で過ごした3年間は数多くの思い出に溢れた毎日でした。

3年前の東日本大震災で被災し本校に迎えていただきました。辛いこともありましたが、3年間ソフトボールを続けることが出来ました。これも共に歩んできた部員



自動車科  
3年 1組  
青鹿 俊  
(加須北中)

日本工業大学

工学部 機械工学科

自動車科での3年間、私は多くの資格取得を目標に学習しました。一年生で計算技術検定や危険物取扱者試験に挑戦し、二年生ではエンジン分解について学びました。三年生では、三級自動車整備士国

たちやクラスメートの支えが、あったからだと思えます。入学当初は不安なことばかりでしたがいつの間にか楽しさを感じるようになりました。高校生活がこんなにも明るいものになるとは思いもありませんでした。本校で得たものは数知れません。これらの思い出を



答辞を述べる  
進3年2組 津久井七重さん(毛里田中)

家試験合格を目指し、朝学習と放課後の補習に力を入れました。大変な毎日でしたが、無事合格でき、努力することの大切さと達成感を感じることができました。

また、志望していた大学への合格を果たし、本校で過ごした3年間で、何ものにも代え難いたくさんの財産を得ることが出来ました。これも先生方や家族の支えがあったからと感謝しています。

進学後は、高校生活で学んだことを生かし、日々前進していきたいと思えます。



総合選択コース  
3年 3組  
山本 弥来  
(板荷中)

栃木県立衛生福祉大学校

看護科

私は、先生方や仲間にも恵まれ、本校で充実した毎日を送ることが出来ました。

私には看護師になるという夢があります。そのため、二年生からは看護基礎を学ぶことの出来るライフエリアを選択しました。様々



商業コース  
3年 1組  
周藤 マクミ  
(足利三中)

フジパンググループ本社

株式会社

私の3年間は、とても忙しく過ぎ去った様に思われます。しかし、とても充実していました。

日々の学習や、商業の専門科目の資格取得に向けた補習等、大変な毎日ではありましたが、上位の級に合格できた時の達成感、何

な実習を通して、上手にコミュニケーションを取る事が看護する上で重要であることも学びました。また、各エリアやクラスの友人と関わることで視野が広がり、自分自身が多面的に成長することが出来たと思えます。

そして、3年間の集大成として志望校合格を果たし、夢の実現に向けての第一歩を踏み出すことが出来たことは、支えてくださった先生方のおかげと感謝しています。ありがとうございました。



ものにも代え難いものがありました。熱心に御指導くださった先生方に、心から感謝しています。

また、生徒会に入った事も、私を大きく成長させてくれた要因の一つです。朝の挨拶運動や、白鷗祭等の学校行事の中心となって活動できた事。春の選抜出場を決めた硬式野球部の、全ての試合を応援できた事。対習志野戦の全校応援では、全身が震えました。

数多くの貴重な体験を心の糧とし、4月からは、社会人として頑張っていきたいと思えます。



埼玉医科大学	跡見学園女子大学	桐生大学	群馬大学	群馬医療福祉大学	高崎健康福祉大学	東京福祉大学	共愛前橋国際大学	上武大学	群馬医療福祉大学	関東学院大学	作新学院大学	国際医療福祉大学	足利工業大学	日本ウェルネススポーツ大学	常磐大学	つくば国際大学	東北福祉大学	仙台大学	東京農業大学	文教大学	東邦大学	北里大学	東京薬科大学	工学院大学	東京電機大学	東京都市大学	芝浦工業大学	龍谷大学	近畿大学	専修大学	駒澤大学	東洋大学	日本大学	明治学院大学	武蔵大学	國學院大学	獨協大学	成蹊大学	日本女子大学	東京女子大学	白鷺大学
1名	3名	4名	3名	1名	7名	2名	2名	2名	2名	4名	1名	3名	3名	1名	1名	3名	2名	1名	10名	7名	1名	2名	1名	8名	2名	1名	6名	2名	3名	4名	8名	12名	2名	1名	1名	3名	1名	2名	1名	272名	

東京工科大学	東京家政大学	東海大学	帝京大学	玉川大学	大東文化大学	創価大学	清泉女子大学	女子栄養大学	昭和女子大学	順天堂大学	実践女子大学	駒沢女子大学	恵泉女子大学	共立女子大学	大妻女子大学	亜細亜大学	植草学園大学	和洋女子大学	東洋大学	帝京平成大学	中央学院大学	聖徳国際大学	城西国際大学	神田外語大学	人間総合科学大学	日本薬科大学	浦和大学	共栄大学	尚美大学	埼玉学園大学	西武文理大学	十文字学園女子大学	平成国際大学	目白大学	明海大学	文京学院大学	日本工業大学	東京国際大学	聖学院大学	城西大学
3名	4名	4名	11名	2名	5名	2名	5名	1名	5名	2名	2名	1名	1名	6名	5名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	5名	1名	1名	3名	2名	6名	1名	1名	2名	2名	1名	2名	4名	1名	1名	3名	3名	1名	8名

**〔専門学校合格者 120名〕**

栃木県立衛生福祉大学	栃木県立看護専門学校	群馬県立太田産業技術専門学校	群馬県立農林大学校	マロニエ医療福祉専門学校	国際テクニカル美容専門学校	宇都宮メディア・アート専門学校	国際テクニカル調理師専門学校	上都賀市医師会付属看護専門学校	宇都宮ビジネス電子専門学校	宇都宮アート&スポーツ専門学校	足利市医師会付属看護専門学校	足利デザインビューティー専門学校	日産栃木自動車大学校	他専門学校等82名合格
2名	1名	1名	2名	2名	1名	1名	2名	1名	5名	4名	2名	7名	1名	

**〔短期大学合格者 16名〕**

育英短期大学	宇都宮短期大学	関東短期大学	桐生大短期大学部	戸板女子短期大学	佐野短期大学	埼玉純真短期大学	山野美容芸術短期大学	鶴川女子短期大学	東京女子体育短期大学	日本歯大東京短期大学
1名	1名	1名	4名	1名	1名	3名	1名	1名	1名	1名

東京女子体育大学	東京工業大学	二松学舎大学	日本女子体育大学	日本体育大学	武蔵野音楽大学	武蔵野大学	立正大学	他私立大学等24名合格
1名	3名	2名	1名	1名	1名	1名	4名	

**栃木県外**

石井工業(株)
坂本工業(株)
(株)サンフード
しげる工業(株)
東邦車輛(株)
東武ビルマネジメント(株)
(株)豊田自動織機
(株)なとり
ニプロ医工(株)
日野自動車(株)
富士重工業(株)
フジパングループ本社(株)

**平成25年度の主な就職先**

**栃木県内**

アキレス(株)	竹内産業(株)
足利第一病院	東邦樹脂工業(株)
足利吉田プラ工業(株)	栃木金属工業(株)
遠藤食品(株)	(株)富岡食品
菊池歯車(株)	(株)トヨタレンタリース栃木
小平産業(株)	日星石油(株)
(株)小松製作所	日産自動車(株)
(株)サカイ引越センター	浜井産業(株)
第一レジン工業(株)	(株)深井製作所
(株)大協精工	両毛クリニック
高田車体(株)	両毛丸善(株)

**就職状況**

～選ばれる生徒になるために～

～進路指導部～

就職は景気の動向に大きく左右されます。今年度は円安の影響で輸出型の製造業が好調だったことを受け、前年度よりも求人数が増加しましたが、新卒採用の少数厳選傾向は続き、9月の1次試験では内定率は6割程度にとどまりました。その後、各地で行われた合同面接会などを経て、2月時点での内定率はようやく9割以上に達しました。

在校生においては、現在の高校生就職状況を理解し、生活態度を正すこと(欠席・遅刻・早退をしない)、入社試験で課される学力試験や面接に備えて、基礎学力の向上や、部活動・資格取得に励むなど、高校生活の中で自分の目標を設定し、努力を続けることが求められています。

# 祝 関東大会出場

**硬式野球部**  
ついに選抜の扉を開けた

硬式野球部は、10月27日から茨城県の水戸市民球場、ひたちなか市民球場で行われた第66回秋季関東地区高等学校野球大会に出場し、優勝しました。



ナイスプレーでホームインを阻止した  
普2年3組 小川真希君(古河一中)

秋季関東大会の出場は22年ぶり2回目で、前回はベスト8で敗退し、初の選抜大会の出場を逃していただけに、同じ過ちは繰り返さないとの思いで大会に臨みました。大会の内容は、27日の水戸市民球場で、1回戦の花咲徳栄高校を6対5で逃げ切って勝利すること、28日の浦和学院を3対1で、29日から会場をひたし、ひたちなか市民球場に移して、準々決勝の習志野高校を3対1、30日の

準決勝の山梨学院大附高校を3対1と、埼玉、千葉、山梨の各県の1位代表高を次々と撃破し、31日の群馬県の桐生第一高校との決勝戦に駒を進めました。その決勝戦でも同校を6対3で破り、初の関東王者の称号を獲得しました。

この優勝により、春の選抜高等学校野球大会の出場を確実なものとしたわけですが、選手たちは慢心することなく、応援して戴いた方々に、結果でお返しができるように、練習に励んでいます。

## 明治神宮野球大会出場

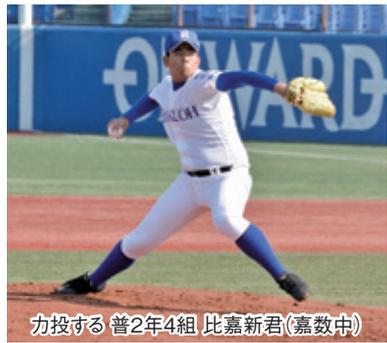
劇的な結末も選抜の教訓として

硬式野球部は、11月16日から東京都の明治神宮野球場で行われた第44回明治神宮野球大会の高校の部に出場しました。

秋季関東大会の優勝により出場権を獲得し、関東地区代表として、中国地区代表の岩国高校と準々決勝で対戦しました。

この大会は、普通の野球の全国大会とは異なり、開会式の服装がユニフォームではなく制服、入場行進を行わず、大学の部も含めた全参加校が明治神宮を参拝した後、明治神宮会館で開会宣言を神宮の宮司さんから戴くという全く経験

したことがない、とても新鮮な開会式で始まりました。



力投する 普2年4組 比嘉新君(嘉数中)

試合は終始、本校のペースで進み、展開も先制、中押しと、順調に得点を重ね、ほぼ勝利を手中に収めたかと思われた終盤、まさかの守備の崩壊で、4対6と逆転負けを喫してしまいました。

多くの方々に応援をして戴いて、この結果では、大変申し訳なく思っています。この敗戦を大きな教訓として、必ず春の選抜高等学校野球大会では、精神的にも一回り大きくなったチームをお見せしたいと練習に励んでいます。

## 陸上競技部

短距離走で活躍！ 駅伝は惜敗！

10月20日・21日に、神奈川県相模原市において、関東高校選抜新人陸上大会が行われ、本校からは男女あわせて、15名の選手が参加しました。台風の様な風雨の悪い

コンディションでしたが、普二の白寄桃名さん(間々田中)が女子100mで見事優勝、同2000mでも3位入賞を果たしました。



表彰会で笑顔の白寄さん

女子駅伝全国切符ならず！  
11月22日・23日に、関東高校駅伝大会が地元の佐野市運動公園周

## バトントワリング部

関東大会で「銀賞」獲得

10月26日、千葉ポートアリーナにおいて、第48回バトントワリング大会が行なわれました。当日は、前日から関東地方に上陸した台風の影響で交通機関が乱れ、開催が危ぶまれる中、急遽パ



銀賞を獲得したバトン部員

回コースで行われました。全国高校駅伝の地区代表を女子チームが目指しましたが、またもやその切符を手にする事ができませんでした。3年連続優勝をめざした男子チームも12位に終わり、力を発揮することができませんでした。



先頭グループを追う3区  
文理2年3組 斗澤未来さん  
(小山城南中)

スで会場に向かいました。その後、天候も落ち着き始め、大会は開催されることになりました。

私達バトントワリング部は、「GTO」の曲で演技をしました。結果は「銀賞」でした。三年生にとっては、最後の大会となり、一・二年生にとっては、たくさんの課題を見つけることができた大会でもありました。来年度は、より良い結果を得られるよう更に練習に励みたいと思います。

## 出場メンバー

- 総三の一 岡田 史織 (太田東中)
- 総三の二 萩原 瑠那 (太田城西中)
- 総二の二 宇津木千紘 (玉村中)
- 総一の三 阿久津玲奈 (伊勢崎あずま中)
- 総二の三 嶋田 七実 (大泉西中)
- 普一の一 渡辺 瑳彩 (佐野南中)
- 普一の一 大井 椿 (田沼西中)
- 文一の一 小久保 楓 (佐野南中)

## 宇津木千紘さん 関東支部大会で入賞

2月15日・16日、千葉ポートアリーナにおいて、「第39回全日本バトントワーリング選手権関東支部大会」が行われました。前日からの大雪の影響で交通機関が麻痺する中、大会運営が危ぶまれましたが、大会開始時間の繰り下げや演技時間の変更等の特別措置により、何とか開催されました。



5位入賞を果たした宇津木さん

そんな中、総二の二字津木千紘さん（玉村中）は、「ソロストラット」に出場しました。「ソロストラット」とは、マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるポディーワークとバトンの技術を競う種目で、前進する足の出し方に決まりがあるなど、制約の中でいかにバトンテクニクとポディーワークを表現するかが見所です。宇津木さんは、難度の高い技にも挑戦して成功し、26名の出場者の中で準々決勝から決勝まで勝ち上がり、「第5位」に入賞しました。

同時に、以前から目標としていた「全日本バトントワーリング選手権大会」（愛知県名古屋ガイシ

## 第68回国民体育大会 柔道、水泳、陸上の3部が大健闘

### 柔道部

全国に向けて確かな手応え！

10月5日～7日、東京武道館において、第68回国民体育大会柔道競技が行われ、本校からは少年男子に普二の三太田竜聖君（足利一中）、普一の一太田彪雅君（足利一中）、普二の四浅野大輔君（協和中）、文三の二水谷将也君（総和中）の4名、少年女子に普三の二渡辺愛実さん（岩舟中）の計5名が栃木県代表として出場しました。

少年男子においては初戦から強豪の鹿児島県と対戦し、残念ながら1対2で敗れてしまいました。少年女子は同じく鹿児島県と対戦し1対1の内容差で勝利しました。続く準々決勝においては優勝候補の東京都と対戦し、0対3で敗れてしまいました。栃木県初の少年女子ベスト8入賞に、選手・監督ともに大変喜んでいました。

激戦の関東ブロック大会を勝ち抜き、全国大会に出場した男女栃木県チームは来年以降も入賞の可

（ホール）への出場権を獲得しました。更に技術を磨き、今後も活躍してくれることを期待します。

能力があり、今後の活躍が期待されます。

### 水泳部 スポーツ祭東京2013



少年A 200m背泳ぎに出場した野間君

9月13日～15日まで、東京都辰巳国際水泳場にて、スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会水泳競技大会が開催されました。

本校からは、文三の一野間隼斗君（加須昭和中）が少年A 200メートル背泳ぎに出場しました。

野間君は、今夏は怪我に苦しむ思うようなレースをする事が出来ず、悔しい思いをたくさんしました。今回も、自分のベストタイムから考えると、納得できる結果ではありませんでしたが、周囲の応援が力となり、最後まで諦めずに泳ぎ切ることができました。この経験を生かし、更に上を目指して、精進して欲しいと思います。

## 陸上競技部 全国大会出場

10月4日～8日まで東京の味の素スタジアムで第68回国民体育大会陸上競技大会が開催されました。栃木県の代表として本校の陸上競技部からは普二の一白寄桃名さん（間々田中）が少年女子A 100mに出場しました。大会当日は非常に寒く、短距離種目にとっては最悪のコンディションでした。アップから集中している様子でしたが、緊張からか試合ではうまく力を発揮することができずに予選落ちとなってしまいました。白寄さんにとっては高校に入ってから初めての全国大会出場となりましたが、結果は納得のいくものではありませんでした。しかし、この大会が次に向けてのよいステップになったと思います。今後の活躍に期待したいと思います。

## 全国都道府県対抗駅伝 快挙！県代表に男女2名ずつが出走

全国都道府県対抗駅伝大会の女子大会が1月12日に京都、男子大会が1月19日に広島で、それぞれ開催され、本校から文二の二馬橋あづみさん（佐野城東中）、普二の四安藤優香さん（佐野北中）、普三の一須田博己君（小山三中）、普二の一梶谷瑠哉君（今市中）の4名が正選手として出走しました。

## 国民体育大会出場者

- 【上左から】  
太田竜聖君、太田彪雅君、  
浅野大輔君、水谷将也君、  
野間隼斗君  
【下左から】  
渡辺愛実さん、白寄桃名さん



栃木県代表として力走する安藤さん

# 全国選抜大会・全国大会出場

## 硬式野球部 選抜甲子園へ

柔道部、女子ソフトテニス部、ボクシング部、体操部、バトントワリング部も大活躍



### 硬式野球部 選抜甲子園出場

足利史上・本校史上、初の快挙！

選抜に一番近づいた日から

硬式野球部の初めての秋季関東大会出場は、足利学園高校時代の平成3年。1回戦で当時の優勝候補だった春日部共栄高を破り、選抜出場の目安とされる準々決勝で東京農大二高に敗れ、あと一歩で選抜出場を逃しています。

このような歴史があるだけに、同じ過ちは繰り返せないとの思いで臨んだ昨秋の関東大会で、初の関東王者の称号を獲得し、第86回選抜高等学校野球大会へと駒を進めることができました。

歴史的快挙の口火を

不安より期待のほうが大きかった1回戦は、3月23日、対戦相手は東北大会準優勝の宮城県の大



出発式の様子

高校でした。この試合は、自慢の打線が機能し、普一の三大下誠一郎君（若松中）の大会記録となる



東陵高校戦に勝利し、校歌を歌う選手たち

4本の二塁打等で9対1と圧勝しました。これはこの後、共に勝ち上がる佐野日大高、桐生第一高と両毛線の沿線3校が、揃って初戦を突破するという歴史的快挙の口火を切った勝利でした。

続く2回戦は、3月28日、対戦相手は九州王者の沖縄尚学高校。明治神宮野球大会優勝校であり、今大会の優勝候補とも言われていました。しかし、こちらも関東王者として負けるわけにはいきません。試合は本校が先制し、沖縄尚学が追い付く展開で、前半は押し

気味に試合を進めました。しかし、拙い攻撃等もあり、好機に得点出来ず、力投していた普二の四比嘉新君（嘉数中）を援護することができないまま、終盤に投手陣がかまってしまい敗退してしまいました。

選抜大会から得たもの

本校は関東地区代表として出場したわけですが、栃木県の、そして足利市の代表であることを強く意識して戦ってきました。応援してくださった足利市の皆様、そしてチームを支えてくださった多くの本校関係の方々へ、結果でお返しをするという目標は、甲子園で校歌を歌うことで一つは達成でき

### ボクシング部 初の全国大会で惜しくも敗退。次回に期待！

第25回全国高等学校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップ（3月24日～27日、芦屋大学福山記念館）に本校から、関東ブロックの代表として、ウェルター級総二の三落合佑季也君（玉村中）が出場しました。



ボクシング選抜大会に出場した落合君

落合君は、全国大会初出場で1回戦に意気揚々と挑みましたが、



沖縄尚学戦で先制のホームを踏む普2年4組 周東貴人君（坂西中）

パンチを警戒し、距離を取る相手に攻め切ることが出来ず、0対3のポイント負けになってしまいました。

落合君は、高校からボクシングを始め、基本の動きと、持ち前の負けん気でメキメキと力を付けてきており、まだまだ伸び代がある成長途中の選手です。今回の試合での反省点を克服し、白鷗ボクシング部のキャプテンとして、部の先陣を切り、今後の大会で活躍してくれるでしょう。経験を積み重ね、技術のレベルを上げ、次の全国大会である千葉県での総体では全国制覇を狙います。

## 体操部

一年生ながら栃木県代表として出場

3月21日・22日、愛知県豊田市で第30回全国高等学校体操競技選抜大会が行われ、本校からは文一の三長琴音さん（足利北中）が出場しました。



大会会場にて（右が長さん）

## バトントワリング部

### 全日本バトントワリング選手権大会出場

3月22日、愛知県名古屋市の日本ガイシスポーツプラザ・日本ガイシホールにおいて、「第39回全日本バトントワリング選手権大会」が行なわれ、総二の宇津木千紘さん（玉村中）が出場しました。

宇津木さんが出場した種目は、ソロストラットです。マーチのリズムに合わせて、バトン技術とボディワークの美しさを競います。宇津木さんにとっては、初めてとなるソロ（個人）の全国の舞台。緊張感の中コートに立ち、精一杯の演技をしましたが、結果は第15位でした。決勝に残ることはでき



初めての全国大会で堂々と演技する宇津木さん

10月に行われた栃木県高等学校体操競技新人大会で、本校体操部は女子団体総合での優勝を果たしました。さらに個人総合でも優勝

した長さんが栃木県代表として選出され、一年生ながら選抜大会出場を決めました。

初めての全国大会の壁は厚く、大舞台で普段の力を発揮することは大変難しいと感じました。結果として入賞することはできませんでしたが、今回の経験を基にこれからさらに練習に励み、技の完成度を高めていきたいと決意を新たにしました。

来年度は男女揃って団体総合でのインターハイ出場ができるよう、まず今年度は長崎県の大村高校との対戦でした。1番手の普二の四新宮愛さん（山辺中）・普二の四清水香澄さん（山辺中）ペアが4-0で勝利し、チームに勢いをつけると、2番手の普二の二浮谷美咲さん（野田南部中）・普二の三阿部美咲さん（協和中）ペアもこの流れに乗って4-1で勝ちました。

一層技を磨いてほしいと期待しています。

## 女子ソフトテニス部

### 2年連続ベスト16

1月23日・25日、東京体育館にて行われた関東選抜大会で準優勝し、2年連続11回目の全国選抜大会出場を決めました。

全国選抜大会は、3月28日～30日、名古屋市の日本ガイシホールで開催されました。直前の全日本私学大会でベスト4に入り、活躍が期待されました。



大会会場にて

3番手の普二の二井腰恵理さん（佐野城東中）・普二の一齋藤由花さん（杉戸中）ペアも4-2で勝ち、対戦成績3-0で2回戦に駒を進めました。2回戦は富山県の高岡西高校との対戦でしたが、対戦成績1-2で惜しくも負けてしまい、ベスト16で終わりました。しかし、全国の強豪校と互角に戦えるという感触を得ることができました。この経験を生かし、夏に

## 柔道部

### 目指せ頂点！全国制覇への道

去る3月20・21日、日本武道館において第36回全国高等学校柔道選手権大会が行われました。

本校からは、個人戦には男子3名女子2名の計5名と、男子団体戦に出場しました。初日の個人戦において、男子無差別級に出場した普二の一太田彪雅君（足利一中）が実力を発揮しベスト4に進出。準決勝で敗れたものの堂々の3位入賞を果たしました。

翌日の団体戦では初戦から強豪



団体戦で活躍した犬将の太田君



ポイントを取って喜ぶ新宮（右）・清水（左）ペア

校と対戦し、勝利は全ての試合で大將戦にまでもつれる激戦を繰り広げました。

準決勝では、全国大会優勝常連校である国士館高校と対戦し、代表戦にて勝利を収め、決勝に進出しました。

決勝の相手は東京代表の修徳高校でしたが、決勝戦でも大將戦にもつれ込み、前日の個人戦と同じ対戦相手同士の対決になりました。残念ながら僅差で敗れ、チームは準優勝となってしまいました。全国制覇に向けて手応えのある試合内容となりました。

この経験をもとに、夏のインターハイへの意欲が増し、選手たちも団結力をより強めることが出来たと思います。団体戦準優勝という栃木県史上初の快挙に監督・選手ともに自信を深めることが出来ました。

# 白鷗大学だより

フルス ウルトラ  
PLUS ULTRA —さらに向こうへ。

## 白鷗大新球場が完成

「リーグ戦開催、一般開放も」

関甲新学生野球リーグ1部の白鷗大学が小山市洪井に建設していた新たな硬式野球場の竣工式が、2月28日、行われました。新球場は「白鷗球場」と名付けられ、硬式野球部が毎日の練習で使用するほか、リーグ戦も開催する予定です。また、一部市民に開放することも検討しています。

完成した球場は両翼98メートル、中堅122メートルの全面人工芝グラウンド。バックネット裏には屋根付きの観客席（432席）があり、ナイター照明も完備しています。50メートル四方の守備練習

用グラウンドや投球練習場も併設されています。

これまでの球場は、土のグラウンドで水はけが悪く新球場の建設が望まれていました。楽天の岡島豪郎選手をはじめ9年間で7人のプロ選手を誕生させた

本学野球部の実績と、小山市による土地の貸与などの後押しがあり、昨年5月に着



青山学院大学との練習試合

## パリ大学東クレテイユ校と協定締結

「海外交流協定校8カ国14大学に！」

白鷗大学は、この度、フランスのパリ国立大学東クレテイユ校（1970年創立の法律・経営・教育・医学など9学部）に約3万人の学生を有する大学と交流協定を締結しました。これにより本学



アベニエル学長(右) 奥島学長(左)

の海外交流協定校は、8カ国14大学となりま



は、そのうち、8大学と交換留学を行っています。今回の協定締結は、昨年同大学のジン・

## 「PLUS ULTRA教員の会」発足 教職に就く卒業生の支援組織化へ

現職の教員として活躍する卒業生を支援しようとして、鳴友会（白鷗大学同窓会）は昨年6月に「PLUS ULTRA（プラスウルトラ）教員の会」を発足させました。

本学では、86年の開学以来、毎年多くの教員を各地に送り出してきました。「大学ラン

工しました。この日は大久保市長らが始球式を行ったほか、完成を記念し青山学園大学応援部の模範演武と同大硬式野球部との練習試合も行われ

ました。本学の上岡條二理事長は「市民の皆さんに開放することでスポーツ振興に役立てたい」と挨拶し、式を終えました。



なお、今春の教員採用試験合格者数は非公表の福島、山形、秋田の三県を除き、112名でした。

# 本校舎

## インターシニップ

### ◆商業コース

商業コースで毎年恒例のインターシニップが、10月22日～25日の4日間で行われました。今年度は足利市内の製造業・販売業・飲食業を中心に11の事業所で職業体験をしてきました。



スポーツ店での実習の様子

体験内容は、TV局の番組作り、スーパードットスポーツ店での販売実習、ケーキ作りや調理見習い、ホテルでの業務や事務など多種多様でした。生徒たちにとって、この4日間は、働くことの意義や大切さを肌で感じ、将来の職業を考える上で、貴重な体験となったことと思います。

また、この貴重な体験を後輩である一年生に伝えるため、11月11日に報告会が実施されました。体験した事業所毎に分かれてパワー

## トピックス

ポイントでスライドを作成し、体験内容や感想などを発表しました。

### ◆総合選択コース

10月22日～25日にかけて総合選択コース二年生のインターシニップが行われました。今年度は市役所をはじめ足利市内と近隣の事業所、また足利市内の保育所で職業体験をしました。

初めは不安そうだった生徒たちも、事前指導を重ねるうちに就労する自覚も芽生え、前向きな姿勢でインターシニップに臨むことが出来ました。

仕事をする上での礼儀作法やコミュニケーションの重要性、働いてお金を頂くことの意味を身をもって実感しました。この体験は、来年の進路決定に向けてどんな言葉よりも深く響いたことと思います。



工場での実習の様子

## 自動車科 有終の美を飾る

11月29日に足利市のニューミヤホテルにおいて、栃木県産業教育振興会足利地区振興協議会が開催されました。その中の生徒発表会で、本校の代表として自三の小川真育君（太田北中）と橋本恭兵君（山辺中）が、自動車科独自の校外学習について発表しました。

2人はこの日のために、放課後学校に残って、パワーポイントを利用し、何度も発表の練習をしました。その努力の結果、素晴らしい発表をすることができ、来賓の方からもお褒めの言葉をいただくことが出来ました。

自動車科としての卒業生は今年度で最後になります。そのため多方面から注目されることも多く、

### ― 修学旅行 ―

#### 沖縄・台湾

3月3日～8日にかけて、本校舎2年生の修学旅行が実施されました。本年度は、旅行先が沖縄と台湾の2方面からの選択で、共に3泊4日の旅行でした。沖縄では晴天とはいきませんでした。水色の空、瑠璃色の海を満喫しただけでなく、戦跡や資料館を見学することによって戦争の悲惨さを肌で感じる事ができました。台湾



沖縄の青い海をバックに

では中正記念堂、世界四大博物館の一つで歴代中国皇帝のコレクション

生徒たちもその自覚を持って各行事に臨むことができました。自動車科最後の1年間を良い形で締めくくることができました。ありがとうございました。

## エリア学習発表会

### ― 総合選択コース ―

12月12日、マルベリーホールにおいて総合選択コース二、三年生によるエリア学習発表会が行われました。三年生にとっては高校生活の集大成となるため成功に向けて入念に準備してきました。ライフエリアではテーブルセッティングやクリスマスリースなどを展示、溶接作品、マイコンカーの展示、芸術エリアでは、音楽系はハンドベルとリコーダーの発表を、書道系では作品の展示、情報メディア



ハンドベルを演奏する音楽系の生徒たち

エリアでは動画の上映をしました。それぞれエリアの特徴を生かした発表を行い、一年生は先輩達の発表を真剣に見入っていました。昨年同様、生徒が準備から発表までを行い、この会を通して大きく成長できました。

シオンを収蔵する故宮博物院や台北の街を一望できる高さ508mのランドマークタワー「台北101」などを見学しました。また、姉妹校である成功高級中學の学生たちとの交流会にも参加しました。天候には恵まれませんが、台湾の多彩な文化を体験することで幅広く国際感覚を養うことができたと思います。行き先は違いましたが、それぞれに実り多い充実した旅行になったようです。

# 富田キャンパス トピックス

## 台北市立成功高級中學との初めての姉妹校交流が実現

11月29日から7日間、台湾の台北市から本校の姉妹校である台北市立成功高級中學の教職員4名、生徒20名が来校しました。5月に台北市立成功高級中學と姉妹校提携をして以来、両校間で最初の交流が実現しました。



シ・ガールホールでの歓迎会

トン部の生徒と、富田校舎において行われた歓迎会では富田校舎の生徒と交流し、得意の一芸を披露してくれました。

台湾への帰国前日に行われた足利フラーパークでの夕食会（さよならパーティー）では、その日初めて会った富田校舎生徒会の生徒たちと意気投合したようでした。成功高級中學の生徒たちは、楽しく思い出に残る食事会で日本滞在の全てを締めくくりました。

この他にも、白鷗大学訪問やアキレスなどの地元産業見学を通して日本の良さを堪能できたと思われまます。

この3月には本校舎の生徒68名が修学旅行で訪問しましたが、両校の交流はまだ始まったばかりです。これからも長く交流が続くことで、両校の発展に繋がることを期待しています。

## 修学旅行

11月に二年生が修学旅行に行ってきました。アメリカ西海岸コース、東海岸コース、沖縄コース、オーストラリアコースの4つのコースから、それぞれ希望するコースを選択しました。

初めて海外を訪れる生徒も多く、

アメリカやオーストラリアでは、日本とは違う文化や風習に戸惑いながらも、その土地に根付く伝統や歴史を理解しようとしていました。英語を駆使し、何とか自分の思いを伝えようとした経験は、少なからず自信に繋がったはずだと思います。



東海岸  
～独立戦争の戦場にて～

また、戦争体験者から沖縄戦の話や戦争の傷を癒えていないことを痛感し、米軍基地問題を始めた日



西海岸  
～ゲティセンターにて～

本が抱えているさまざまな国際問題について改めて考えるきっかけになりました。

この修学旅行をただ「楽しかった」という感想にとどめることなく、実際に目で見て肌で感じて学んできたことを、実生活でどう生かしていくかを考えていってほしいと思います。そして、少しずつ自発的に行動していくことにより、将来、国際社会を担う人材として育ってほしいと思います。

## 外国語系英語スピーチコンテスト

2月21日に「外国語系英語スピーチコンテスト」が開催されました。外国語系の生徒にとっては、「英語表現」の授業で学んできたことを発表する初めての機会となりました。「食料問題」や「世界の教育制度」等の国際的なテーマについて、各自の意見を英語で発表し、審査員のジェニファア先生から高い評価を得ることができました。



みんなで記念撮影

今回は姉妹校マディソン・カンントリー・デイ・スクールからの留学生も日本語でコンテストに参加しました。

このコンテストを経験して、生徒は自分の意見を外国語で伝えることの重要性を再認識したようでした。

## 合唱祭

11月15日に富田キャンパスの一年生が、20日に本校舎の普通コース・商業コース・総合選択コースの一年生が合唱祭を行いました。

早朝や放課後を利用して、一生懸命練習に励んでいるクラスが多く、高校生活3年間の思い出の一つになることを願います。

結果は以下の通りです。

### 【本校舎】

- 最優秀クラス賞 普通コース二年二組
- 優秀クラス賞 商業コース二年一組
- 審査員特別賞 総合選択コース二年二組
- 最優秀指揮者賞 商一の一 根本 華歩さん(定利西中)
- 最優秀伴奏者賞 商一の一 川嶋 宏樹君(行田太田中)

### 【富田キャンパス】

- 最優秀賞 進学コース二年四組
- 優秀賞 特別選抜コース二年二組
- 最優秀指揮者賞 進一の四 近藤 里奈さん(佐野西中)
- 最優秀伴奏者賞 進一の四 保々 あず美さん(定利西中)



熱唱する生徒たち



全員で大合唱

## スーパード・サイエンス・ハイスクール活動報告

### 生徒研究発表会

2月20日に、富田校舎シナールにてSSH生徒研究発表会が実施されました。この発表会は、本年度取り組んださまざまな科学体験講座の報告や研究成果の発表を行うことで、生徒同士が切磋琢磨し、より一層科学に関する興味・



藍染め(総合選択コース)

関心を向上させていくことを目的としています。

SSH指定校として初年度の発表会ということもあり、手探り状態で準備が始まりました。限られた時間の中で、生徒たちは放課後遅くまで残ってポスターやスライドを作ったり、プレゼンテーションの練習をしたりしていました。



肉を柔らかくするフルーツは？(科学部)

マディソン・カントリーデイン・スクール語学研修やつくばサイエンスツアーの実施報告を英語で行ったことや植物染め体験の発表は来賓である大学の先生方にも好評でした。科学部の「肉を柔らかくするフルーツは？」という研究発表は、正確なデータを取る

理解することです。

宇宙から見た美しい地球の様子や、日本人宇宙飛行士の生活の様子、またJAXAにかかわる方の仕事についてなど、普段知ることのできない内容まで聞くことができました。

質疑応答ではISSでのトイレや宇宙生活後の体重の変化など質問が出ました。

### SSH・JAXA講演会

12月6日、SSH・JAXA講演会を第2体育館で本校舎生徒対象に実施しました。講師はJAXA広報部の大嶋龍男先生でした。今回の講演会の目的は高い技術に対する興味関心を深めることと、宇宙開発の進歩や研究の必要性を

ための工夫やスライドの提示の仕方が他の発表グループを感心させるものとなりました。また、自作の硬度計を使った実験を絶賛する大学の先生方も多く、科学部の実力を示すことができました。

質疑応答では専門的な質問に戸惑う場面もありましたが、来年度への課題としてほしいと思います。講評で、群馬大学理工学研究院板橋英之教授から「無知であるから常識にとらわれず邁進することができる。これからのいろいろなことにチャレンジしてほしい」という激励のお言葉をいただき、本年度の生徒研究発表会は幕を閉じました。科学講座においてご指導・ご協力くださった地域の方、大学の先生方に感謝し、来年度にむけて取り組んでいきたいと思えます。



さかんな質疑応答

本校のSSHの事業計画における「将来を担う科学技術者を育成する研究開発を行う」という目標にあてはまる講演会となりました。



第2体育館での講演

## 東京大学訪問

12月25日に、特別選抜コース二年生の理系選択者15名と中高一貫教育コースの中学二、三年生10名



生物多様性についての講義の様子

が東京大学見学に行ってきました。この見学は、農学部で行われている研究について理解を深めることを目的としています。

生物多様性研究室、昆虫遺伝研究室を見学した際には、それぞれが取り組む研究の概要を聞いたたり、実験器具を見たりしました。生物多様性研究室教授である宮下直先生の講義では生態系のバランスや劣化についての話を聞きました。

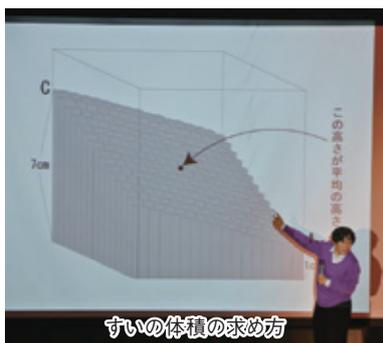
人類を含めた多くの生命が地球上に存在し、どの生命も欠かせないということや私たちの生活に深く関わっていることを知りました。そして自然を守り、共生していく大切さを学ぶことができました。

## 数理講座

「すいの体積」6角柱からのアプローチ

10月31日に、富田キャンパスシナールホールにて、特別選抜コースと進学コースの一年生対象に、埼玉大学名誉教授岡部恒治先生による出前講座が行われました。

第1部の講義では岡部先生の巧みな話術とパワーポイントを利用した視覚的な効果により、生徒たちは一気に講義に引き込まれていきました。第2部のワークシヨップでは、6角柱の木片を使った実験を行いました。生徒たちは岡部先生の説明に熱心に耳を傾けながら作業をしていました。



すいの体積の求め方

講義中、積極的に手を挙げ、岡部先生の発問に解答したり質問したりする生徒たちの姿から、数学のおもしろさや奥深さを知ってもらおうという本講座の目的は達成することができたと思えます。

# PTAだより

引き継がれたPLUS ULTRA PTA会長 西場 伸一



卒業生の皆さん、保護者の皆様御卒業おめでとうございます。これから皆様は、それぞれが夢を描いた新しい道を歩まれるわけですが、高校生活で培った「PLUS ULTRA」の理念と、諸先生方から教えた知識や技術を生かして社会人として、そして学生

として大きな夢に向かって前進して下さい。卒業生の皆さんが入学された3年前は東日本大震災による大きな被害が発生し、日本中が悲しみに打ちひしがれている時でした。厳しい毎日が続く日々でしたが、その中で皆さんが部活動や勉強に頑張っている姿には頭の下がる思いでした。そして皆さんの頑張る心はしっかりと後輩達に引き継がれました。多くの部活動が活躍する中、特に「第86回選抜高

## 予餞会

1月31日、本校舎第2体育館で予餞会が行われました。在校生にとっては、初めてとなる有志による発表形式でした。

校野球大会」への出場推薦を勝ち取ったことは大変素晴らしいことです。これからは後輩達がしっかりと「PLUS ULTRA」の精神を受け継ぎ立派な実績を残してくれるものと期待しています。なお、甲子園の出場に際しましては、PTA会員の皆様方の甚大なるお力添えを賜りましたことを紙面をお借りして御礼申し上げます。

バントワリング部は、ボンボンとバトンを使った笑顔で華やかな内容のものと、津軽三味線の曲に合わせた迫力のある演技を披露してくれました。吹奏楽部のトーンを交えた演奏に、会場も手拍子で合わせるなど演奏者と聴衆が一体化し、大いに盛り上がりました。男性職員有志のバンドは、物まねトークで笑いを誘い、三年生もステージに押し寄せ、アンコールも出るほど盛り上がりました。三年生女子有志によるダンスは、自分で振り付けしたそうですが、とってもカッコよく素敵で、これも何度もアンコールを受けるなど、体育館中が盛り上がりました。

三年生をはじめ生徒にとっては、高校生活の良い思い出のページになったことと思います。

## 編集後記

小学校入学から高校卒業までの全過程においてゆとり教育を受けた生徒たちが学び舎を巣立って行きました。学力低下や社会性の欠如などにより社会的にも問題視されている「ゆとり世代」です。この世に生を受けた年の阪神淡路大震災、小学校入学の年にユーロの流通開始、中学入学の年には、アメリカで初の黒人大統領が誕生、高校入学の年に東日本大震災、高校卒業の年には観測史上初となる大雪と、彼らの人生の節目には歴史に残る出来事がありました。これらは、世界に発想の転換や変化をもたらしました。「ゆとり世代」と言われながらもその変化を体感しつつ立派に成長した卒業生たち。新たな変革への発信源として活躍する姿が期待されます。

## — 生徒会役員決定 —

生徒会は、11月1日に発足しました。新生徒会のメンバーは、本校舎二年生7名、一年生5名の計12名、富田校舎二年生7名、一年生11名の計18名です。発足早々、評議委員会や歳末助け合い募金活動、生徒会誌「若人」の作成、また硬式野球部の活躍により神宮野球大会の応援等、様々な仕事に追われ、毎日休む間も無く忙しく活動しています。



本校舎生徒会役員

- 会長 商二の二 松浦 愛(尾島中)
- 副会長 総二の二 田中友太(板倉中)
- 総二の二 遠藤 輝(足利中)
- 文一の二 マシマシ(見沼中)
- 議長 総二の三 三村章喜(豊田中)
- 副議長 文一の二 木村允哉(清流中)
- 書記 普二の三 木村美月(板本南中)
- 商一の二 工藤正吾(小山城南中)
- 会計 文一の三 米田綾美(綿田中)
- 普一の二 今井佑香(尾島中)
- 文二の二 吉田友美(定利北中)
- 会計監査 商二の二 本橋友輔(関分寺中)



富田校舎生徒会役員

- 副会長 慧二の二 神村恵美(白鷺利中)
- 議長 進の四 平沢 開(総和中)
- 副議長 慧二の二 石原樹羅(毛里田中)
- 書記 進の五 安達秀弥(大平中)
- 会計 進の三 亀田百華(板倉中)
- 会計監査 進の五 佐藤彩加(小山城南中)
- 進の五 橋本晏奈(小山中)
- 慧二の二 篠崎成美(館林三中)
- 進の一 大木瑠依(結城中)
- 進の一 久保麻友子(小山中)
- 進の三 伊沢拓真(佐野北中)
- 進の三 渡部真樹(板倉中)
- 進の三 稲葉 遥(吹上中)
- 進の四 小川将慶(館林中)
- 進の四 七原美優(小山城南中)
- 進の五 佐藤 司(休泊中)
- 進の五 窪田佳奈(清流中)
- 進の五 増田麗菜(白鷺利中)

※「はくおう」の題字は平野英治校長直筆のものです。お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。編集・校報委員会発行・白鷺大学足利高等学校足利市伊勢南町三の二0284-410890制作・(有)コーエiproセス発行日・平成26年3月31日